

平成29年度

事業報告

社会福祉法人 野田芽吹会

千葉県野田市下三ヶ尾875-1

平成29年度 事業実施報告

I はじめに

平成29年度は社会福祉法人制度改革の実施に伴うガバナンスの強化を図る観点から評議員会の義務化や理事会の役割の明確化など組織体制の再構築を行い、平成30年度に迎える全面的な報酬改定を見込んだ準備の年となりました。社会福祉法人を取り巻く環境は厳しさを増す中ではありますが、当法人としては引き続き法令を遵守し、ご利用者へ良質なサービスの提供ができるように努めていく意識を高めていきたいと思っております。

今年度から始まった社会福祉充実計画による事業は、職員採用、道の拡張等概ね計画通りに行うことが出来ました。特に道の拡張に付きましては、施設の永年の懸案であり、関係者をはじめ、地域の方のご協力とご理解をいただき、計画1年目で大きく動くことが出来たことに深く感謝申し上げます。

また障がいを持つご利用者やそのご家族の高齢化への対応などサービス提供にかかわる問題も深刻化している状況にあり、今年度実施した「認知症サポーター研修」は意義のあるものだったと思います。これからも、職員育成、研修等を充実させ、ご利用者や地域のニーズに応えられる施設づくりに励む所存です。

Ⅱ 29年度法人事業実施報告

1 理事会・評議員会等の開催について

年月日	会議名	議題・報告事項
29年4月1日	理事会	・ 理事長の互選について
29年5月31日 (通知：5月24日)	理事会	・ 平成28年度事業報告・決算の承認について ・ 定款細則、経理規程、給与規程の一部改正 ・ 評議員会の招集、理事の選任、監事の選任 ・ 社会福祉充実計画
29年6月22日 (通知：6月8日)	定時評議員会	・ 理事、監事の選任 ・ 計算書類、財産目録の承認 ・ 社会福祉充実計画の承認
29年6月22日 (通知：5月31日)	理事会	・ 理事長、副理事長の選定
29年7月27日 (通知：7月20日)	理事会	・ 定款細則の一部改正 ・ 濾過機改修工事指名業者選定 ・ 評議員会の開催について ・ 報酬規程の制定について
29年8月3日 (通知：7月27日)	評議員	・ 報酬規程の制定について
29年9月7日 (通知：8月31日)	理事会	・ 平成29年度補正予算について ・ 濾過機改修工事請負契約の締結について ・ 経理規程・定款細則の一部改正について
30年3月12日 (通知：3月5日)	理事会	・ 平成29年度補正予算について ・ 30年度事業計画・収支予算について ・ 給与規程の一部改正について ・ 災害時協力井戸の登録について ・ 評議員会の招集について

30年3月19日 (通知：3月12日)	評議員	・30年度事業計画・収支予算について
------------------------	-----	--------------------

Ⅲ 野田芽吹学園施設・短期入所・共同生活援助事業の実施状況

当施設は、第一種社会福祉事業の障害者支援施設の経営（施設入所支援：定員50名、生活介護事業：定員50名）と第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業の経営（短期入所事業（定員6名）の事業および共同生活援助事業（定員11名）を実施しました。平均入所年数が21.6年となり、20年以上入所者が全体の半数以上となりました。26歳から89歳と利用者さんの年齢層も幅広く、年々高齢化が進んでいる現状にあり、年度中に1名の方が嚥下機能が衰え79歳で療養型の施設に行くことになり、退所しています。さらに、2名の方が急な体調変化で施設で亡くなり、緊急時の対応について再度確認をしました。

障害支援区分については新たに区分4の方が入所したこともあり、平均5.62と昨年に比べ0.02減、重度加算（行動関連項目8点以上）は26名が対象となっております。28年度より始まった職員の強度行動障害支援者養成研修の受講者は今年は9名受講し、在職職員は全員終了となり、さらに実践研修修了者が2名増え4名となりました。重度障害者支援加算の算定要件の経過措置を受け、引き続き30年度も受講者を増やしていく所存です。

1 利用状況

(1) 入退所状況：定員50名（平成29年4月から30年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	26	26	26	25	26	26	26	26	26	26	25	25
女性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23
合計	50	50	50	49	50	50	50	50	50	50	48	48
				退所	入所						2名 死亡	

(2) 利用者の障害支援区分 (平成30年3月31日現在 平均5.5)

野田芽吹学園		区分4	区分5	区分6	合計	重度加算
利用者の	男性利用者	0名	11名	14名	25名	14名(再掲)
障害支援区分	女性利用者	0名	6名	17名	23名	12名(再掲)

(3) 短期入所(定員6名)利用状況

年度	延べ人数	延べ日数(1日平均)
29年度総合計	39名	1839日(5.0人)
28年度総合計	28名	2134日(5.8人)
27年度総合計	21名	2026日
26年度総合計	18名	2275日
25年度総合計	36名	2403日
24年度総合計	32名	2482日
23年度総合計	21名	2066日
22年度総合計	25名	2073日
21年度総合計	25名	2375日
20年度総合計	19名	1824日

(4) 共同生活援助利用状況(利用者11名)

入退所状況	性別	年齢	区分	備考
継続	男性	27歳	5	一般就労者
継続	男性	30歳	3	一般就労者
継続	男性	49歳	4	日中・地活センター利用者
継続	男性	51歳	4	日中利用者
新規	女性	26歳	4	生活介護利用者
継続	女性	42歳	4	通所利用者
継続	女性	43歳	4	通所利用者
継続	女性	50歳	4	通所利用者

継続	女性	51歳	4	通所利用者
継続	女性	62歳	5	日中利用者
新規	女性	56歳	5	日中利用者
今年度評価	グループホームを開設し、開設当初から利用されている方が2名10年目となりました。芽ぐみを開設して5年。新設した希の芽も3年目を迎え、それぞれのニーズにどのように応えるかが課題となっております。平均年齢は男性39.3歳、女性47.1歳。区分は4.2となりました。			

(5) 日中一時利用状況

委託契約・利用状況 野田市：柏市：流山市：香取市：松戸市：吉川市

委託市	本人の状況	人数	延日数	利用日数
野田・香取・松戸	ケアホーム等利用	10名	916	月から金
野田他	在宅（レスパイト）	27名	710	都度
野田	放課後利用	2名	61	週2回
	当年度合計	39名	1678	1日平均4.6人
	前年度合計	35名	1797	1日平均4.9人
今年度評価	地域に放課後デイサービス事業所が増えてきたため、児童の利用者は減ってきました。反面、体験利用で数日間利用する方が増えた。			

(6) 相談支援状況 (児童)

	新規計画		継続計画		モニタリング		合計	平均 6ヶ月 毎
	野田市	市外	野田市	市外	野田市	市外		
4月	(3)	0	1	0	(1) 6	1	12	19
5月	(3)	0	2	0	(3) 1	3	12	20
6月	(5) 1	0	(14) 7	2	2	7	38	24
7月	(2) 1	0	0	1	(11) 4	1	20	27
8月	(1)	0	0	0	(12) 4	0	17	28

9月	2	0	0	0	(9) 17	1	29	26
10月	(2) 2	0	4	1	(3) 6	0	18	27
11月	(2) 1	0	2	0	(2) 5	1	13	27
12月	(2)	0	21	0	(19) 17	2	61	32
1月	0	0	0	8	(11) 10	1	30	34
2月	(1)	0	2	0	(4) 6	1	14	33
3月	0	0	(3) 3	5	(4) 22	5	42	36
合計	(21) 7	0	(17) 42	17	(79) 100	23	306	
新規計画28名、継続計画76名、モニタリング202名、合計306名の計画を作成しました。								

(7) 入退院状況

性別	年齢	病名	入院日	期間
男性	79	誤嚥性肺炎	5月6日から6月29日	55日
女性	68	胆石性胆のう炎	9月9日から10月20日	42日
延べ日数			延べ人数2名	97日
				28年度(293日) 27年度(162日) 26年度(214日) 25年度(70日)
誤嚥性肺炎で入院する利用者が少なく、全体的に入院者は少なかった。				

(8) 帰宅状況

(24年度104人) (25年度98人) (26年度82人) (27年度82人) (28年度63人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数	3	11	4	3	11	3	2	2	7	12	2	3	63
年々、帰宅の回数が減ってきていることが集計でわかります。昨年から一泊旅行や日帰り旅行を実施しており、利用者の方に新たな楽しみを考える必要を感じます。													

2 職員の状況（異動状況を含む）※（ ）は非常勤数

職 種	29年	年度内		30年	30年	
	4月1日	退職・異動	採用・任用	3月31日	4月現在	
施 設 長	1			1	1	
事 務 長				(1)	(1)	
事 務	1			1	1	
(非常勤事務)	(2)			(1)	(1)	
看 護 師	1			1	1	
栄 養 士	0			0	0	
相 談 員	1			1	1	
サービス管責任者	1			1	1	
生 活 支 援 員	19	3	5	21	23	
補 助 員 (ハート)	(22)	(6)	(4)	(20)	(20)	
合 計	全 体	48	3 (6)	5 (4)	48	50
	管 理 部 門	5 (2)			5 (2)	5 (2)
	常勤換算 (支援員)	19 + 15			21 + 14	23 + 14

【調理委託】委託業者：東洋食品フードサービス

3 管理業務状況

(1) 健康管理業務

		○嘱託医による毎月1回の診察または相談の実施					
医療体制・通院状況	診療科目	病院名	29年	28年	27年	26年	25年
	精神科	岡田病院・木野崎病院					
	神経内科	小張クリニック			0名	0名	0名
	内科	小張クリニック・新村医院・瀬戸	21名	29名	41名	22名	78名
	外科	小張クリニック	5名	1名	16名	20名	17名
	整形外科	小張クリニック・梅郷整形外科	17名	20名	17名	13名	25名
	脳外科	小張クリニック	5名	6名	6名	6名	5名
	消化器内科	小張クリニック	5名	6名	8名	5名	7名
	腎内科	小張クリニック	5名	6名	8名	4名	5名
	呼吸器内科	小張クリニック	3名	3名	3名	0名	0名
	循環器内科	小張クリニック	2名	1名	1名		
	皮膚科	小張クリニック・城内皮膚科	9名	9名	9名	6名	31名
	眼科	小張クリニック	11名	7名	12名	11名	7名
	耳鼻咽喉科	小張クリニック	2名	1名	11名	10名	12名
	泌尿器科	小張クリニック	18名	10名	14名	22名	5名
	歯科	瀬畑歯科	29名	31名	45名	20名	34名
	婦人科	小張クリニック	4名	3名	2名	0名	0名
	口腔外科	日大松戸歯科部附属病院			3名		
	緊急時	夜間救急対応・救急車対応	10名	3名	7名	3名	5名
	延べ人数		146名	136名	203名	142名	231名
健康	○年2回健康診断の実施 (H29.7.28、H30.3.2)						
管	○毎月1回、体重測定・隔月血圧測定 前期検便H29.9月 後期検便H30.3月						
理	○インフルエンザ予防接種 H29.12.8						
	○職員対象緊急時の対応研修 都度感染症等職員会議時実施						

(2) 施設整備管理業務

施設設備の修理・工事	内容
施設設備の保守点検委託業務	エレベータ保守点検・汚水処理（ポンプ）・グリストラップ清掃・給水設備維持管理・水質検査業務・消防設備（SP）・給食設備点検
施設設備の管理業務	害虫駆除・産業廃棄物、一般廃棄物処理
施設会計業務	会計事務所委託

4 実習生受入状況

期間	学校名	人数
4月24日～5月8日	越谷保育専門学校	2名
5月15日～5月26日	埼玉東萌短期大学	2名
7月3日～7月15日	川村学園女子大学	2名
7月31日～8月15日	江戸川大学専門学校	2名
9月4日～9月15日	埼玉学園大学	2名
11月6日～11月17日	埼玉東朋短期大学	1名
2月2日～2月13日	江戸川大学専門学校	2名
2月4日～2月15日	共立女子大学	2名
3月8日～3月19日	越谷保育専門学校	2名
3月20日～3月31日	川口短期大学	2名
合計		19名

5 ボランティアの受入状況

(1) 誕生会演芸発表ボランティア（毎月保護者会時実施）

4月	光和会	4名	生演奏
5月	誕生会のみ		
6月	リバースハーモニカクラブ	10名	ハーモニカ演奏
7月	カ・フラ・オ・イリマ・アロハ	13名	フラダンス
8月	新幸どんぐり劇団	5名	カラオケ
9月	童謡の会	4名	童謡演奏
10月	ひばりハーモニカクラブ	6名	ハーモニカ演奏
11月	新幸どんぐり劇団	5名	カラオケ
12月	ひばりハーモニカクラブ	6名	ハーモニカ演奏
1月	誕生会のみ		
2月	ソフトブラザーズ	5名	懐メロ演奏
3月	誕生会のみ		

(2) その他のボランティア

7月	野田弐八会	5名	そば打ち
9月	ビオラの会・福田女性会	11名	布団名前付け
10月	江戸専・二中・一般	22名	学園祭
	ライオンズクラブ模擬店	14名	学園祭
12月	ロータリークラブ・ジャスコ	10名	クリスマス会

6 事業実施状況

(1) 施設運営状況

①個別支援計画の作成・管理、支援マニュアル

個別支援計画の 作成・管理	<p>・担当が個別検討票を作成し、サービス管理責任者がそれを受けて個別支援計画案を作成し、それぞれの担当が確認後ご家族・ご本人に説明し、概ね半年に1回見直していくという形をとりました。対応が難しいケースは事例検討会を開き、対応の仕方を共有しました。</p>
支援マニュアル	<p>・年度終わりに利用者の緊急対応が重なり、緊急対応マニュアルを全員で再確認しました。</p> <p>・支援については統一した支援が出来ず、都度の対応になりがちのため、支援業務マニュアルの見直しの必要性は感じますが、統一した支援を行うために、何に困っているのか項目を挙げて検証することをから始めていくことを30年度の課題としていきたいと思います。</p>

②苦情解決委員会活動

第三者委員の相談	職員への対応の仕方の相談や第三者の来園を楽しみにしている利用者さんの相談など、帰宅の話や少し不安になっていることを聞いていただきました。利用者さんから職員への対応への相談、職員から職員配置に対する相談などがあがり、都度対応していきました。相談件数は29件ありました。
苦情相談窓口の設置	毎月第4土曜日午後開催。この他、苦情受付担当者（支援課長）、苦情解決責任者（施設長）が常時対応しました。苦情相談は3件で、日中利用時の怪我、小遣いの使い方、など市や関係機関と連携し、苦情解決に努めました。
トラブル報告	前半は利用者の怪我や職員の怪我が多く労災が4人ありました。後半に職員の荷物の渡し忘れ等、職員の不注意や支援ミスが多く挙がりました。全体的にトラブルの報告が少なかったが、記録を見ると報告書が出されていないトラブルもあり、全体的にはトラブルの減少にはなっていないように思われます。また、ふらつきによる転倒や食べ物を詰まらせるなど、高齢者に多くみられるトラブルが目立ちました。
その他の活動	第三者委員来園日に虐待防止委員会を開催しました。きりんの会の報告を行い、職員チェックリストで気になった点を話し合いました。今年度も不適切な対応にならないように委員で話し合い、きりんの会の目標に入れるなど意識できるようにしました。

③支援関係会議の開催

朝会（毎朝開催）	朝の申送りでその日の活動予定を確認し、利用者さんの対応も話し合うことで、共通の理解ができました。反面、予定の入れ間違い等があり、それも含めて再確認することができました。引き続き、「利用者さんを大切に思う気持ちで支援して下さい。」と伝えました。
全員出席の職員会議の開催	事前に勤務表で調整し、公休日なしとし全員参加の会議を月1回開きました。午前中に男女の棟会議を開き、午後の職員会議で報告してもらい共有することで、共通理解が出来るようにしました。障がいの理解のための研修も多く取り入れ、補助員

	会議でも同じ内容で行うようにし、スキルアップに努めました。
個別支援会議	各棟会議で課題がある利用者を取り上げ、アセスメントから現在の支援方法を探り、支援方法を考えていきました。
男性棟・女性棟 会議の開催	生活支援員、看護師が参加。男女各棟で課題となっていること、変更したいことなど現場サイドで話し合いを行いました。後半看護師がオブザーバーという形を取り、まず生活支援員からの提案を各棟会議で挙げてもらうようにし、現場の声を聞く形をとりました。決定事項は職員会議で発表し、全体で共有しながら支援方法を探りました。
作業班会議	各作業班（かえで、ひまわり、あやめ、山吹、花水木班）に責任者を配置し、日中活動の充実を図りました。会議は各作業班で必要に応じて開催し、毎月作業補助員会議を行い、行事報告や連絡を行いました。
事例検討会	困難事例を挙げ、責任者で検討することで支援の統一性を図りました。各月でアドバイザーを頼み、自分たちだけでは対応が難しい事例もアドバイスをもらうことにより、見方、考え方が変わり、新たな支援の仕方での支援することが出来ました。
責任者会議	毎月、職員会議で職員セルフチェックリストと支援で困っていることを記入する用紙を配り、虐待防止と職員とのコミュニケーションを図るようにしました。上司とのコミュニケーションが取りにくいという意見には直接話を聞くようにし、今どんなことで悩んでいるのか解ることで、お互い意志の疎通を図ることが出来ました。責任者会議では、職員からの提案事項の検討や運営面について話し合いました。

④施設内研修の開催

月 日	内容	講師	参加者
4月4～7日（4日間）	新人研修	施設長	新人職員
4月26日	行動規範確認	施設長	辞令式にて
4月26日	医務研修（クルリーナの使い方）	ユーチューブ動画	職員
4月26日	虐待防止研修	施設長	職員
5月24日	支援員の役割（ひろがり通信より）	施設長	職員
8月23日	利用者さんの理解	施設長・課長	職員・非常勤

12月27日	医務研修 感染症について	看護師	職員
12月から3月	認知症サポーター研修	地域包括担当	職員・非常勤
3月28日	医務研修 緊急対応について	看護師	職員

⑤施設外研修

- ・他施設見学（社会福祉法人 みづき会）
- ・野田市介護予防記念講演 リハビリテーション体操
(各作業班代表参加)
- ・交換研修（社会福祉法人 みづき会）
- ・その他（別紙参照）

（2）委員会活動

「行事」は例年通りの施設内外・招待行事に参加することができました。今年度も誕生会にボランティアを要請し、催しものを楽しみながら毎月誕生会を開催することが出来ました。サロンは対応する職員がいないため、都度の開催になりましたが、ボランティアを要請し、何回かボランティアに手伝ってもらいながら開催することが出来ました。「防災」も避難訓練等は予定通り行うことが出来ました。水害を想定し全員で第一避難所に移動する訓練を行い、避難の仕方を確認しました。「広報」は定期的な広報誌の発行を行い、原稿の印刷も印刷会社とうまく連携が取れるようになり委員の負担が少なくなりました。「物品管理」も1名の配置ながら、問題なく管理をおこなうことが出来、「環境」は今年も破損や不具合の報告が多く修繕を中心に活動することとなりました。「健康・栄養」は保健所の栄養管理指導者からのアドバイスをもらいながら、委員で給食について委託会社と協力して検討しました。特別委員会のきりんの会は権利擁護委員会として職員への啓蒙活動を中心に活動することが出来ました。

（3）居室活動

個別支援計画に添って居室外出等計画、実施しましたが、秋以降日帰り旅行や一泊旅行が多く入り、年明けインフルエンザが流行ったこともあり、計画どおりにが進まないことがありました。

30年度に向けて施設の行事をどのように入れていくかが課題に残りました。

(4) デイ（作業班）活動

5グループに分け、作業活動を行いました。各班に作業責任者を配置し、班ごとに特色のある活動や行事を行いました。かえで班では自閉傾向の方が落ち着いて作業が出来るように個別対応の他、運動を多く取り入れ、施設内を楽しみながら歩きました。花水木班ではディサービスの要素を取り入れ、作業時間中に楽しんで入浴をしてもらえるように職員を配置し、山吹班、ひまわり班は定期的に作業班の外出を計画し、あやめ班も新しく切手張の仕事を取り入れ作業収益の還元も含め作業意欲を高めることが出来ました。

(5) 地域生活移行のための試み

① クラブ活動

カラオケクラブは休日の活動を中心に行いました。1階ホールを活用し、発表する喜びと観る楽しさを感じてもらいました。樽太鼓の定期的な練習は継続し、園内外行事での発表を行いました。

② 地域生活体験ルーム（多目的棟内）

緊急短期の利用者の方で、部屋の利用がありました。

H30. 2. 9～22 3. 13～26

(6) 地域活動

参加行事・施設行事等

月 日	行事名	内容
3月27日（月）	お花見招待	千葉カントリークラブ招待（利用者7名参加）
4月10日（日）	光和会のだ自慢	利用者・保護者参加
5月27日（土）	福田二小運動会	招待（午前中のみ参加7名）
6月17日（土）	おひさまといっしょに	関宿総合体育館
7月9日（土）	はーとふるふる祭り	利用者3名参加
7月15日（土）	こぶし園夏まつり	樽太鼓演奏（利用者6名参加）
7月25日（火）	サンスマイル	朗読&プレイバルーン
8月12日（土）	三ヶ尾地区納涼祭	地域盆踊り 利用者6名参加

9月24日(日)	梅川洋子一座秋まつり	利用者5名参加
10月1日(日)	福田地区敬老会	「おひさま樽太鼓」発表
10月28日(土)	みどり園まつり	利用者3名参加
10月29日(日)	学園祭	テーマ「笑顔爛 満」
11月3日(木)より	野田市文化祭	作品展示
11月3日(木)	江戸専フェスタ	利用者3名参加
11月5日(日)	福二フェスタ	福田二小、3・4年生との交流会
11月5日(日)	くすのき苑祭	利用者3名参加
11月5日(土)	福田の森フェスタ	じゃんけん列車・猛獣狩り
11月8日(水)	八景島シーパラダイス	利用者19名
11月21日(火)	日光江戸村	利用者21名
12月7日(木)	さわやか芸能発表	ひまわり班鑑賞参加
12月20日(火)	ロータリークラブクリスマス会	レクレーション・プレゼント
12月29日(金)	女性棟全体外出(昼食外出)	女性利用者25名参加
1月4日(日)	新年会	利用者・保護者・第三者委員・理事、評議員
2月15(木)、16(金)	一泊旅行(蓮沼方面)	利用者16名参加

(7) 利用者家庭との交流

月1回、定期的に開催される保護者会に施設長が参加し、情報交換等を行いました。毎回発行される学園通信、広報紙等をとおして、利用者の様子や施設運営の状況を情報提供しました。また、保護者会時誕生会を開催し、保護者にも参加を呼びかけみんなで参加できるようになりました。

(8) 特別活動

①きりんの会活動(人権擁護・人権侵害防止委員会)

・虐待マネージャー1名と男女職員各1名を委員に任命し、人権に配慮する支援環境作りに向けて活動をしました。今年は、「丁寧」というキーワードで目標を立てました。

7 事務環境整備・施設環境整備

(1) 事務環境整備

①支援記録や小遣い管理、会計等を充実するため、パソコンの利用の継続をしました。セキュリティ対策としてフォーティゲート（情報漏えい防止）を導入したため、パソコンの大きなトラブルはありませんでした。

②クラウドを導入し、会計事務所に月次報告や決算等を委託したため、会計業務は滞りなく行うことができました。

(2) 施設環境整備

① 太陽光発電設備の設置事業（社会福祉充実計画）

福祉避難所として指定を受けている野田芽吹学園の屋上スペースに太陽光発電システムを設置しました。CO₂を削減し、省エネルギーに配慮した施設として整備することができました。

② 自家用水道のろ過機改修事業（社会福祉充実計画）

老朽化したろ過機の改修を行い、利用者さんに安全・安心な飲料水を提供することができました。工事が完了したことに伴い、野田市指定の災害時協力井戸の登録を行い、災害時に地域住民に飲用可能な水道水を供給することが可能となりました。

③ 生活介護棟改修事業

換気不足により湿度が高くなり、風呂場付近の壁にカビが発生したため、24時間換気扇を増設するとともに壁のクロスの張替工事を実施しました、

④ 壁補修事業

施設の廊下や利用者さんの居室の壁の補修を「個人賠償責任保険対応」で実施しました。

⑤ 火災報知器設置事業（芽ぐみ）

施設整備基準に従い、自動通報装置を新設しました。

⑥ 業務用冷蔵庫購入

旧冷蔵庫の老朽化に伴い、給食用冷蔵庫を2台購入しました。

8 補助事業の状況（29年度事業）

(1) 二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金（一般社団法人環境普及促進協会）

太陽光発電設備の設置事業補助金

総費用：18,900,000円（内補助金11,500,000円）

(2) 社会福祉施設等施設整備費補助金（千葉県）

希の芽：防犯カメラ設置工事及び門扉設置工事

総費用1,975,320円（内補助金1,481,000円）

9 借入の状況

(1) 独立行政法人福祉医療機構

●借入金額 120,000,000円

29年度返済額（利息含む）：11,659,198円

●利息（利子補給額含む）：583,198円

●利子補給額 : 407,598円

県（291,598円）

市（116,000円）

10 事故報告

(1) 怪我の報告 4件

(2) 死亡事故 2件